

【出題方針】

本学生物生命学科の小論文では、知識の有無を問うのではなく、生物や生命という現象の中のどのようなことに関心をもっているのか、その関心事をどのように理解し、その関心事にはどのような課題が含まれているのか、そうした自分の考えていることを論理的に記述・表現できるかを評価します。たとえば、「様々な学科が選択できるなかで、なぜ本学科を選んだのですか」や「この学科で学んだことをどのように社会に役立たせたいと思っていますか」といった出題テーマへの回答を求めます。

小論文では、物事を正しく把握する力、論理的に思考し、問題を見出し、その解決に積極的に取り組むことができるかを総合的に評価します。日頃から、自分の考えとそれを伝える適切な言葉を選択し、記述できるように心がけて過ごすことが大切です。

【評価の観点】

- 問われている内容をよく理解して回答していること
尋ねられていることの趣旨や意図をきちんと理解していることが最も大切です。「何について」書くのか、自分の「何を」伝えたいのかを明確にしてから書き始めましょう。
- 要点を簡潔に伝えていること
「何を」伝えたいのかを明確にしたら、それぞれを伝える順序などを検討し、文章構成を検証して、最も簡潔な表現で記述するようにしましょう。
- 自分の主張が説得力をもって展開されていること
まず、「伝えたいこと」が見出された現象の背景や理由などを簡潔に記述し、伝えたい主張が説得力を持って読み手に伝わるように工夫しましょう。
- 文章が論理的に構成されていること
文章の構成は「序論」「本論」「結論」の三部組となるように留意して、理由や結論が繰り返し記述されることがないように心がけると良いでしょう。
- 適切な日本語表現を用い、誤字脱字がないこと
「伝えたいこと」を表現する最も適切な言葉を選ぶように心がけましょう。使いきれない言葉を使わず、丁寧に自分の言葉を選んで使いましょう。最後に見直して誤字脱字がないか確認しましょう。最後まで丁寧に取り組む姿勢も評価の対象になります。
- 指定文字数や原稿用紙の使い方適切に対応していること
文字枠をはみ出していないか、不適切な空欄や段落換えをしていないか、確認しましょう。

〔2026年度 専願志選抜 小論文 出題意図〕

本学科では、生物工学・生命科学の専門知識をもとに、人々の「いのちとくらし」に貢献できる技術者・研究者の育成を目的としています。そこで、本小論文では、課題を正確に読み解くことができるか、論理的に思考して、自分の考えを適切な言葉を用いて記述・表現できるか、問題解決に自ら取り組む主体性を持ち合わせているかを焦点に、受験者の人間力を多角的に評価することを意図しています。